

戸田みらい基金 活動報告

若手左官技能者の採用や 育成に資する活動報告

～兵庫県職業訓練認定校としての活動～

団体名：有限会社左官山本組

活動期間：2019年4月～2019年10月

：2015年6月～継続中(職業訓練校)

発表日：2020年9月2日

企業概要

創業

昭和3年(創業93年)

設立

平成3年 有限会社左官山本組に法人化

従業員数

20名(うち左官職人16名/うち正社員15名)

事業内容

兵庫県西宮市を拠点とし、大阪・兵庫・奈良・京都を中心に近畿圏内幅広い範囲で、住宅及び古民家や社寺仏閣等の改修工事、近年は左官を伴う外構工事なども手掛けている、左官工事業一筋の会社。

平成27年度より、兵庫県職業訓練認定校として認められ、左官山本塾を開校。現在4期生まで終了し、卒業生9名が、左官山本組の社員として活躍中。



活動内容

兵庫県認定職業訓練校 『左官山本塾』 設立の目的

1. 左官職人の高齢化及び職人不足にストップをかけ、若返り化を図る
2. 左官の伝統工法の後世への伝承と、建築業界における左官工法の進化に対応する職人を育てる
3.
 - ①左官職人の地位の向上及び社会保険、福祉の充実を図る
 - ②社会人としてのマナー、振る舞い、エチケットの学び
 - ③社会(自分に関わる周囲の人々)に感謝し、左官仕事を通じて有難うと言ってもらえる人(職人)になり、有難うと返せる人間になる
4. 左官技術に伴う瓦の修繕や外構工事等の多能工化を図る
※特に災害の多い日本において、災害被害に対応し、左官を通じて社会貢献を果たす為
 - ・1995年1月 阪神・淡路大震災
 - ・2018年6月 大阪府北部地震
 - ・2018年9月 台風21号(暴風、高潮など) を経験



2019年度『左官山本塾』運営の為の活動資金の一部として、戸田みらい基金を活用させていただきました

左官職人養成初級訓練科コース(短期)

対象期間：H31年4月～令和元年10月

運営方法の内訳	I) 兵庫県職業認定訓練校 (兵庫県産業労働部政策労働局能力開発課)	II) 厚生労働者(人材開発支援助成金制度)	III) 戸田みらい基金活用	その他
①期間	H31年4月～令和元年10月(7カ月)	同左	同左	
②OFF-JT及びOJT	OFF-JTが対象	OFF-JT及びOJTが対象。但しOJTを対象に 職業能力評価基準制度有り。	I)、II)含む総括	
③時間数	OFF-JT 410時間	OFF-JT 410時間、OJT 413時間	I)、II)含む総括	※受講者全員100%受講卒業
④受講者数	3名	3名	3名	※山本社長 指導員資格・1級技能士
⑤講師	山本社長(塾長)、本谷、藤村社員	同左	同左	本谷、藤村社員は1級技能士
⑥カリキュラム等	日程別カリキュラム作成の上遂行	同左	同左	※総括カリキュラムの内容は別途
⑦その他			※教材費に活用させて頂きました。	
参考：過去の取組	H27年度6月認可	H30年度認可		
	○H27年度 受講生：社員5名、外部受託2名 OFF-JT 287時間(6カ月)	○H30年度 受講者 3名(途中1名退職) OFF-JT 410時間、OJT 410時間		
	○H28年度 受講生：社員3名 OFF-JT 333時間 (6カ月)	(7カ月)		
	○H29年度 受講者不在で休講			
	○H30年度 受講生：社員2名(途中1名退職) OFF-JT 410時間(7カ月)			

2019年度 教育訓練カリキュラム

1.訓練コース名		左官技能者養成コース（総括）			④			9.能力ユニット	備考
2.実施時期	3.職務名又は教科名	4.職務又は教科の内容		5.時間	6.職務名又は教科名		7.職務又は教科の内容	8.時間	
H31年4月～5月	実習等(OJT)	段取作業	現場入場、退場におけるマナー・ルール、足場使用	7	学科	安全衛生・工法・材料基礎知識	ジョブカードシステム導入説明、安全管理、左官工法、ラス、材料	21	段取り作業、品質・行程維持
		仮設材、左官工具	養生、清掃、ウインチ取り扱い	28	実技	塗り基礎実技	コテ板、コテ返し、壁塗り、防止紙ラス貼り土塗り	33	段取り作業
		左官材料、基礎知識、左官工法	軽量モルタル塗り、訓練、防水紙、ラス貼り訓練	77	学科	工具・工法基礎知識	墨だし、レベル、レーザー、下地処理（小舞下地）	6	段取り作業
			墨出し、レベルレーザー		実技	中塗り基礎実技	墨出し、土壁中塗り（土塗り・漆喰塗り）	57	下地塗り・中塗り
		小計	112			小計	117		
H31年6月～7月	実習等(OJT)	段取作業	木定規、コーナー定規張り方	14	学科	仕上工法基礎知識	各種仕上工法、漆喰の仕上げ	6	左官仕上げの建築的意義と伝統技法の理解
		下地塗り補助	プラスターボードパテ処理、上漆喰下塗り	42	実技	土壁中塗り実技	チリ廻り墨出し、チリ鏝あたり出し、土壁中塗り	74	下地塗り・中塗り
			コンクリート面塗装仕上サンダー掛け、目違い払い材料練り、コンクリート面接着剤塗布、モルタル下塗り	56	実技	土壁中塗り実技	土壁中塗り、漆喰塗り（配合・練り・塗り・仕上げ）	39	下地塗り・中塗り、材料配合
				小計	112			小計	119
H31年8～10月	実習等(OJT)	段取作業	各所墨のおい出し方・打ち方実習	21	学科	左官工法基礎知識	仕上工法、施工計画、工具・機械、建築法規図面、材料、ブロック（積み・切断）	30	左官仕上げの建築的意義と伝統技法の理解
		品質行程維持	モルタルによる付け送り実習	14	実技	塗り・仕上実技	ジュラク塗り、珪藻土塗り、リシン掻き落とし・仕上げ、ヤクモノ、角ハカリ	38	仕上げ塗り
		段取・下地塗り・仕上げ・品質・行程維持	土間コンクリート・モルタル施工の準備及びペンキ下地・均し方・仕上げ	21	実技	塗り実技	ヤクモノ、角ハカリ、洗い出し、研ぎ出し、ブロック積み・切断	37	仕上げ塗り
			バルコニー土間・階段・壁タイル等の施工準備及びモルタル塗り・ペンキ下地・均し方・仕上げ	84	実技	ブロック施工実技	ブロック積み（ベース作り・切断・積み）	28	仕上げ塗り
		下地・中塗り・仕上げ	木造住宅内壁漆喰塗り、木造基礎モルタル塗り	56	実技	レンガ・タイル施工実技	レンガ積み、タイル施工、土壁中塗り	35	仕上げ塗り
		小計	196						
		10.実習等(OJT)	小計	420時間	11.Off-JT（教育訓練機関）		小計	404時間	
12.座学等(off-JT)実施機関		有限会社 左官山本組（兵庫県認定職業訓練校 左官山本塾）			13.実践型人材養成システム合計			824時間	

実践型人材養成システムの内容

座学等(Off-JT)

社員採用の広報活動及び社外研修について

1. 若年層への技能工募集及びインターンシップ受け入れ

○募集媒体:会社HP、求人雑誌、ハローワーク、口利き(町内会、関連業者等)

○新卒予定の高校、専門学校、大学の各就職担当窓口への訪問

○インターンシップの受け入れ:建設系専門学校、実業系高校等



2. 左官山本塾塾生及び卒業生社員の研修

- 自社教室にて、技能士試験練習台の設置
- 外部主催の技能士資格取得講習会に参加
- 外部講師(特に名人・名工と呼ばれる匠)の招聘と実技指導
→社内訓練のマンネリ化防止の為、外部からの刺激は有効的



3. ワークショップ等のイベント派遣による研修

○光る泥団子と壁塗り体験教室(自社教室での開催)

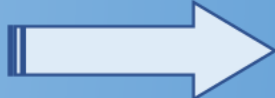
○社外施設での光る泥団子教室やワークショップ開催

(NHK文化センター、神戸新聞、コープ共済、無印良品等)


○工務店、住宅関係の外部団体及び、西宮市とのタイアップによるワークショップ開催



活動による成果

1. 2019年度新入社員3名、100%受講完了(824時間)  今回の最大の成果


2. 新入社員の卒後の技術レベル

 入社前経験0から、外壁の防水紙→ラス貼り→モルタル中塗りまで対応が可能

3. ベテラン社員、先輩社員も新入社員に指導することにより、逆に教える立場になる

 より研究、勉強する機会が増えた


4. 若手化推進

 現職人数16名中(うち20代~30代 9名、40代 2名)と11名が40代以内
で若手化が進んでいる

 職場も活気があり、将来を期待してくれる得意先も増え、好評を得ている

5. 資格取得推進化

左官山本塾の目的の一つである、卒業生による資格取得推進の結果

 2019年度 4名合格(うち1級 2名、2級 2名)
現在までで卒業生9名→1級技能士 2名、2級技能士 4名の資格者輩出

『継続していく』 『新たに形成していく』

1. 安定的、継続的な左官技能職人(社員)の採用

- 若年層への左官の魅力発信(ワークショップや泥団子教室の積極的な企画実施及び参加)
- 福利厚生、給与関係の充実

2. 教育、訓練機関の充実

- 自社内、及び左官組合等との連携
- 国、地方自治体、民間の補助・助成金の積極的な利用
- 左官以外の技術・知識の勉強による、多能工型の職人の育成(タイル、煉瓦、ブロック、エクステリア設置、瓦など)
- 伝統技術の継承の継続
- 技能士資格取得への挑戦の機会と支援

3. 次世代の左官技能者の受入準備

- 10年後を見据えての、組織の再構築
- 現職人(特に山本塾卒業生)の技術レベル、意識の底上げ
- 新人教育の方法の見直し及び、確立
(礼儀作法、コミュニケーション力、人間性、社会性、段階的な技術指導方法など)
- 女性技能者の積極採用検討(女性が働きやすい環境の整備)

この度は、戸田みらい基金を活用させていただき、誠にありがとうございました。
ご清聴ありがとうございました。